

**訂正版(2016年9月16日)**

報道関係各位

2016年8月25日

## トイレの不備がもたらす社会経済損失に関する調査結果 2015年、衛生環境の未整備による 世界の経済損失は約22兆円、2010年から22%増

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は、本日、衛生環境の未整備が世界経済にもたらす損失について調査し、報告書を発表しました。当調査によると、衛生設備の不備による世界の経済損失は、2010年から2015年の5年間で、1,825億ドルから22%増となる2,229億ドル（約22兆円、1ドル=100円で換算）に拡大しました。また、この経済損失は、衛生環境の未整備による影響を受けている調査対象国で平均した場合、国内総生産（GDP）の0.9%に相当し、2010年の1%からわずかに減少しました<sup>1</sup>。当調査は、LIXIL グループが国際NGOのWaterAidおよび英国に本拠を置く研究機関Oxford Economicsと連携して実施したもので、経済モデルによる分析を通じ、衛生環境の未整備による世界的な経済損失について最新データを提供するとともに、経済的負担が、低所得国および中低所得国において特に大きいことを明らかにしています。

衛生設備の不備が世界にもたらす経済損失のうち、早期死亡に伴う人的損失が半分以上の55%を占めており、アフリカだけでみると75%にも上ります。残りの4分の1には、衛生設備の不備に関連する病気の治療費および病気による生産性の低下、トイレやプライバシーの保てる場所を見つけるためにかかる時間の損失が含まれます。

地域別に経済損失の総額を見ると、衛生環境の悪さにより最も大きな経済的損失が生まれているのはアジア太平洋地域であり、そのコストは金額にして1,723億ドル、世界全体の経済損失の4分の3以上を占めています。ラテンアメリカ・カリブ地域およびアフリカは、それぞれ世界全体の経済損失の約10%を占めています。国別の経済損失額を見るとインドが圧倒的に高く、2015年のインドの経済損失1,067億ドルは世界全体の損失のほぼ半分を占め、インドの国内総生産（GDP）の5.2%に相当します。

さらに、当調査の推計ではアフリカは深刻な衛生問題に直面しており、衛生設備の不備による経済損失が、2010年の155億ドルから2015年の193億ドルと24.5%も増加しています。この経済損失額はアフリカのGDPの0.9%に相当し、この割合はインドを除いた世界の平均水準を上回っています。また、国別に経済損失額がGDPに占める割合をみると、上位10か国はサハラ以南アフリカおよび南アジアに集中しています。

当調査報告書では、すべての人に持続可能な衛生ソリューションを提供するためには、以下の3つを優先分野として取り組む必要があると示唆しています。

### 1. 政治的優先課題としての取り組み

開発分野における国際社会共通の目標である「ミレニアム開発目標(MDGs)」において、衛生設備の改善は目標数値を大幅に下回る結果に終わりました。各国政府は、MDGsをさらに発展

<sup>1</sup> 2016年8月25日発表のプレスリリースで、2010年の衛生環境の未整備による経済損失がGDPに占める割合が0.7%と数値に誤りがありましたので、訂正しました。改訂版の調査報告書は[www.lixil.com/jp](http://www.lixil.com/jp)にてご覧いただけます。

させた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、国家戦略として衛生問題に取り組む必要があります。

## 2. イノベーション

先進国における衛生設備は、多くのエネルギーや水、土地を必要としたり、システムの構築、維持運営に多額の費用がかかります。衛生問題を解決するには、衛生設備が不足している地域の事情を考慮したイノベーションが重要です。

## 3. 協働と協調

低所得者に衛生ソリューションを提供するためには、数多くの複雑な課題に対応する必要があります。官民の連携、そして地域社会との協働関係を築くことが非常に重要です。衛生問題を解決するには、知識の共有や新たなテクノロジーの活用、衛生ソリューションを確実に届けるためのイノベーション創出が求められています。

LIXIL グループは、水まわり分野における優れた技術力や実績を活用し、衛生問題の解決に取り組んでいます。様々なパートナーとの協働を通じて、世界の貧困地域で必要とされる安価で効果的な衛生ソリューションを開発し、2020年までに1億人の衛生環境を改善することを目標としています。

### LIXIL グループ社長兼 CEO の瀬戸欣哉のコメント

「衛生設備の不備は、多くの人々に悲劇的な状況をもたらすばかりか、すでに経済的苦境に立つ国々にとって重い経済負担となっています。今週、ナイロビで開催される第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）には、政治・経済界のリーダーが集結し、衛生問題についても積極的な議論を行う機会となるでしょう。アフリカは15年前に比べ、全体的に健全化が進んでいるものの、衛生環境の未整備がさらなる発展の妨げとなる状況が続いています。アフリカの将来的な発展に向けて、様々な組織が協力し、衛生問題に対する持続的な投資を行うことが不可欠です」

なお、調査報告書の全文は [www.lixil.com/jp/](http://www.lixil.com/jp/) にてご覧いただけます。